

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	視環境設計小委員会	主 査 名：原 直也 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)	委員長名：岩田利枝 主 査 名：明石行生
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな LED・OLED 時代に適合した昼光設計、明視設計や、明るさ感に基づく視環境設計の要件、評価法や設計法の課題を体系的に整理し、新たな課題については WG を設置して組織的に整備することを目的とする。 ・2015 年度:各 WG の活動内容と方針を議論する。 ・2016 年度:3 - 4 年度に設置する新たな WG で取り組むべき活動方針を議論する。小委員会及び WG の活動状況を踏まえてシンポジウムを開催する。 ・2017 年度:各 WG の活動内容と方針を議論する。 ・2018 年度:4 年間の活動を取り纏めたシンポジウムを開催する。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：原 直也 (関西大学) 幹事：神農悠聖 (大手前大学) 委員：明石行生 (福井大学), 秋月有紀 (富山大学), 中村芳樹 (東京工業大学), 吉澤望 (東京理科大学), 井上容子 (奈良女子大学), 岩田三千子 (摂南大学), 奥田紫乃 (同志社女子大学), 加藤未佳 (金沢工業大学), 鈴木広隆 (神戸大学), 大井尚行 (九州大学), 榎究 (実践女子大学), 望月悦子 (千葉工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	明視設計 WG：光源の分光特性を含めた物体や空間の色の見えについて、各委員の最新の研究成果を含めて議論し、LED 照明環境下での明視設計について検討する。 輝度色度設計 WG：特に屋外環境について、視環境として質的なレベルの高い環境を実現するため、輝度・色度を測定することによって評価する方法を確立する。 明るさ感 WG：明るさ感に関連する各指標の特性や用途別の目標値などを明確にすることで、内在者にとっての視的快適性を向上させる設計へと結びつけることを目的とする。 不快グレア WG：現行のグレア評価における問題点を整理し、光源の種類によらず統一的なグレア評価方法の確立に向けた課題を把握する。	
2017 年度予算	105,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 公開研究会「知覚モデルに基づく光環境デザインに向けて」 参加者数 42 名 2. シンポジウム「景観計画につながる色彩研究とは」(建築の質感・色彩評価小委員会との共催) 参加者数 33 名
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 各 WG の活動内容と方針を議論した。 2. WG 活動が活発に行われた。 3. 明るさ感 WG の成果としてシンポジウムを開催した。 4. 輝度・色度設計 WG と建築の質感・色彩評価小委員会とで合同シンポジウムを開催した。
委員会活動の問題点・課題	1. なし